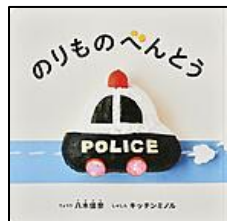


あたらしい絵本 No. 450 2023. 8. 22



『パンダなかよしたいそう』 いりやま さとし

・2頭のパンダが向かい合って両手をあげて、おじぎをするよ。両手をおろして、かわりばんこにおすわりしたら…。ペアの体操でなかよしを楽しもう！「パンダたいそう」シリーズ第7弾。（幼0～2歳）



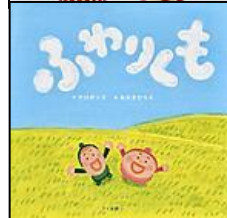
『のりものべんとう』 しゃしん／キッチンミノル

・今日のお弁当はなあに？ ざっくざっく、ショベルカー弁当。ピーポーピーポー、救急車弁当。きーん、飛行機弁当…。子どもに人気の乗り物たちがお弁当に！ 擬音も楽しい、乗り物好きの子どものための写真絵本。（幼0～5歳）



『ごはんのずかん』 作／大森 裕子

・きょうはどれ食べたい？ おにぎりから、たきこみごはん、どんぶりごはん、すし、カオマンガイやパエリアといった世界のごはんまで、いろとりどりの、おいしいごはんをたくさん紹介します。世界のごはんには国旗のマーク付き。（幼0～5歳）



『ふわりくも』 絵／あおき ひろえ

・ブッピーとパッピーがあるいていと、ふんわりふわり、くもがとんできて、じーっとみてたら…何になる？ 人気パネルシアターを絵本化。楽譜と歌詞も掲載。（幼0～5歳）



『ねむいねむい』 西村 敏雄

・ひつじ、うさぎ、さる、りす、パンダ…。いろいろな動物たちが、もう寝る時間です。あれ、眠れないのはだれでしょう？ 眠くないときは、目を閉じて、ゆっくり10まで数えて…。眠りへ誘う絵本。（幼0～5歳）



『ニンジンジン』 さく／キューライス

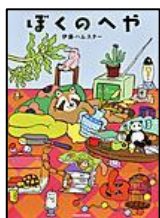
・にんじんの形をしている不思議な生きもの、ニンジンジン。それを食べるために追いかける、2匹のウサギたち。ウサギたちはいろいろな方法でニンジンジンを捕まえようとするが、華麗にかわされてしまい…。（幼0～5歳）



『おふろはいつてらっしゃい』 とよた かずひこ

・まきばでおふろがわいています。「おふろはいつてらっしゃい」という声に誘われ、ひつじさんがとぽーん。ぽかぽか、メエ～。まきばのおふろやさん、つぎに入るのは…。ユーモアたっぷりの「ぽかぽかおふろ」シリーズ第12弾。（幼0～5歳）

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせください。



『ぼくのへや』 伊藤 ハムスター

・「きれいすき」のイメージがあるのにそうじゃないあらいぐまのぼく。思い切っていろいろ捨ててみたけれど、手放してみたら…。本当に大事なものに気づく、おっとりアライグマの自分さがしの物語。(幼0～5歳)



『くすのきだんちのひ・み・つ』 絵／末崎 茂樹

・かけすの坊やたちが、大事そうに袋に入れていたのは、ぴかぴかのどんぐり。それを見た管理人のもぐは、くすのきだんちのひみつを教えてくれて…。くすのきだんちシリーズ第12弾。『おはなしひかりのくに』掲載を書籍化。(幼0～5歳)



『さくらのふね』 きくち ちき

・春きたよ、春きたよ。さくらの風がテントウムシをふわりと飛ばしました。嬉しくなったテントウムシは川面に浮かぶさくらの花びらに乗って、山の生き物たちに春を知らせに出かけます。(幼3～5歳)



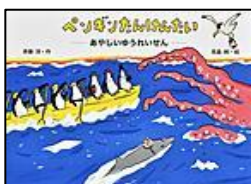
『よるのどうぶつえん』 絵／岡田 千晶

・初めて遠くまで出かけたこねずみ。ところがお母さんとはぐれてしまいます。匂いをたどり、着いた所は動物園。こねずみは動物たちの間を走り、お母さんを探します…。夜の静けさ、動物たちの息づかいまでも描く、幻想的な絵本。(幼3～5歳)



『じめんのしたはマンモスのくに』 まつおか たつひで

・地面の下へもぐっていくと、そこは絶滅した生き物のいる世界。マンモスに乗ったり、サーベルタイガーに襲われているオオナマケモノを石のやりで助けたり…。さあ、絶滅動物に出会える大冒険にでかけよう！(幼3～5歳)



『ペンギンたんけんたい あやしいゆうれいせん』 高畠 純／絵

・カヌーに乗って進んでいくペンギン探検隊の前にあらわれたのは、あやしいカモメ、あやしいウミガメ、あやしいイルカ。そして、あやしい幽霊船。なんだか様子がおかしい…。ペンギン探検隊の大冒険は、どうなってしまうのか？(幼3～5歳)



『夜をまもる騎士 アウル』 クリストファー・デニス／作

・騎士の学校に合格したフクロウのアウル。騎士の訓練は厳しかったけれど挫けず、ついに誇り高き騎士として学校を卒業した。アウルは得意な夜の見張りを任せられるが、お城を襲う恐ろしいドラゴンがあらわれて…。(幼3～5歳)



『てんてんきょうだい』 絵／田口 麻由

・“てんてん”つけたらどうなるどうなる？ ひらがなの濁点の“てんてん”から生まれたきょうだい、いろいろなことばに点をつけていき…。日本語の面白さにも触れられる、子どもの言語センスを養うことば遊び絵本。(幼3～5歳、小初)